

令和8年度 第3回 高尾山学園学校運営協議会 議事録

日時 : 令和8年6月1日 午後3時～午後5時

場所 : ランチルーム

出席者: 野村委員、大槻委員、墓田委員、入江委員、石渡委員

(事務局) 学校長、山田副校長、和田副校長、佐野副校長、長田課長補佐

欠席者: 工藤会長、黒沢委員

1. 会長挨拶

工藤会長が欠席のため、挨拶は割愛し、学校長の進行で開始された。

2. 学校長挨拶

入学相談の急増: 5月後半から6月にかけて視察の相談が急増し、新たに12件の申し込みがあった。

苦情対応: 校長宛に2件の苦情が入ったが、対話を通じて理解を深める良い機会として前向きに対応している。

3. 報告事項

(1) 学校からの報告

在籍状況: 6月時点で5名が転入し、小学部・中学部合わせて計99名となった。

適応指導教室「やまゆり」の利用率は53%である。

授業の様子と ICT 活用: 数学や図工、若手教員による創意工夫のある授業が開かれている。

A I の活用: 授業で使用するマップやキャラクター、スケジュール作成にA Iを導入。従来1～2時間かかっていた準備が約5分に短縮されるなど、業務の効率化が進んでいる。

文部科学省の「学びの多様化学校マイスター」が来校し、現状の取り組みについて指導・助言を受け非常に勉強になった。

分校（下柚木小）設置計画の進捗:

開校予定: 令和9年（2027年）4月1日

加配定数: 分校扱いとなることで、東京都から副校長1名、中学部定数9名の計10名の加配が受けられる見込み。

地域・保護者対応: 5月22日に保護者説明会を実施。下柚木小の教育課程を尊

重しつつ、分校設置が既存の児童にも支援スタッフ増員などのメリットがあることを説明している。現在、保護者向けに3択（賛成・条件付き賛成・反対）のアンケートを実施中。分校内にも「やまゆり教室」の機能を設け、下柚木小の児童や近隣の小学生も利用可能な「校内教育支援センター」としての役割も持たせる予定。

(2) 市教委からの報告（学校からの報告および分校設置に関する協議の中で、教育委員会との連携状況が共有された）

（質疑応答）

→高尾山学園から下柚木小学校に移る児童・生徒はいるのか。また要望は聞くのかどうか。

回答：要望は聞く。特に交通費による経済的負担も考慮していく。

（質疑応答）

→車で送迎する際に、高尾山学園のように車を駐車できるスペースはあるのか。

回答：高尾山学園のように多くはないが、ある程度駐車できる。

4. 協議事項

(1) 学校いじめ対策について

小学部の事案：異学年間の身体的な接触があった事案に対し、互いに距離を置くよう指導。

また、下校時の寄り道や休日の小学生のみでのカラオケ利用について、保護者と連携して指導方針を共有する予定。

土日に関しては、保護者の責任のもと許可する。ただし、小学生が繁華街などへ子供たちだけで行くことは推奨せず、保護者同伴を促す。

中1女子：周囲の言動により不登校傾向にある。いじめの明確な証拠は確認できないが、本人の心情に寄り添い、個別の学習場所（支援学級等）の確保を含め対応を継続。

中3男女：LINE交換をきっかけとした付きまとい事案が発生。大人が教室で見守りを行うなど、物理的な距離を保つ措置を講じている。

(2) 高尾山学園サポート本部からの活動報告等（キャリア教育）

収益活動の計画：畑講座やハンドメイド講座において、野菜や作品を販売して利益を出す活動を計画。教育効果として、収支報告書を自分たちで作成することで、「商売の厳しさ」やキャリア意識を学ぶ。利益は生徒たちの活動資金（お菓子代等）に充てる方針。

(3) 各委員より

平和学習：8月に開催される「八王子市平和展」への協力および、山田祐子先生による平和授業の実施計画が共有された。

メディア掲載：本校の事例が紹介された書籍『多様な学びが生まれる学校』が出版された。

7月12日の東京新聞（日曜版）にて、本校の取り組みが大きく掲載される予定。

5. 連絡事項 他

特になし

次回日程：7月24日（金）午後3時より開催予定